

使用過程において、稀にISOFIXコネクタの解除ボタンが奥で固着し、車両側のISOFIX金具へ噛みこまない、あるいは噛みこんでもインジケーターが誤表示する、などのケースがございます。万が一このような事象が発生した場合は、以下の手順で復旧作業をし、ご使用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

<ISOFIXリリースボタンの確認>



正常時は、ボタンの下辺が約20mm突出しており、適度なバネの反発力が感じられます。

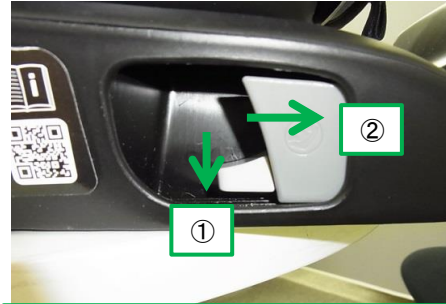


異常が認められる場合は、ボタンの下辺の突出が約10mmで、バネの反発力の感じ方は正常時に比べ、弱いです。

<固着原因>



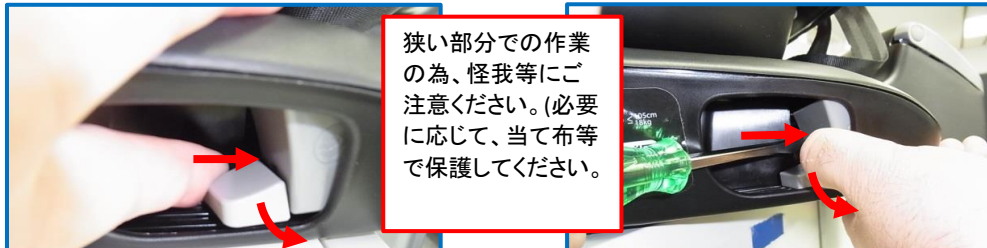
異常が認められる場合、内側を覗き込んでいただくと、第一ボタンのストッパが本体フレームガイドに乗り上げた状態になっており、リリース操作ができない状態になります。



このボタンは①第一ボタンを下方方向に押した後、そのままの状態②第二ボタンを製品前方へ押す必要がありますが、第一ボタンをしっかりと押さずに第二ボタンを操作した場合に発生します。

<復旧方法>

浅く引っかかっている場合は、第一ボタンと第二ボタンを共にプッシュを繰り返すことにより外れることもありますが、固着が深い場合は、下写真の方法などをお試しください。(固着部分の隙間を広げ、解放するイメージです。)



狭い部分での作業の為、怪我等にご注意ください。(必要に応じて、当て布等で保護してください。)

固着している奥の隙間へ指を入れ、手前方向へ掻き出す。

固着している奥の隙間へ細いもの(マイナスドライバーなど)入れ、手前方向へ指で掻き出す。